令和６年度 第４４期

事 業 報 告 書

自　令和　６年　４月　１日
至　令和　７年　３月３１日

公益財団法人カシオ科学振興財団

事　業　報　告　書

令和６年度（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

Ⅰ．事業の状況

当年度の公益目的事業である研究助成事業に対して、総額７,８００万円の予算を計上し、新規校を含め、２０５大学に推薦を依頼した結果、今年度は１０３大学（前年度９０大学）より２５７件（前年度２０７件）の申請を受けた。選考については、萌芽的段階にある先駆的・独創的な研究の助成を重点とする基本方針に基づき、より公平に厳選することに努めた結果、５１件を選定し８,７００万円の助成をおこなった。

その他事業としての研究協賛事業に対しては、総額２,５００万円の予算を計上し、理事会での審議の結果１３件を選定し総額２,９００万円を支給した。

１．研究助成事業（定款第４条第１項第１号）

予 算 額	支 出 額	備　　考
７,８００万円	８,７００万円	５１件助成 （特別テーマ　　２件：１,２００万円 基本テーマ１　３６件：３,６００万円 基本テーマ２　１３件：３,９００万円）

令和５年１０月　６日　第２８回理事会を開催し、「第４２回（令和６年度）研究助成候補者推薦要項」を決定した。

［別紙１参照］

⑴ 申請金額

特別テーマは「持続可能な社会の実現に向けた研究」に限定し、１件あたりの助成額を従前より１００万円増額し、６００万円とした。

基本テーマについては、申請金額別に基本テーマ１と基本テーマ２を設定し、基本テーマ１は１件あたりの助成額を１００万円とし、基本テーマ２は３００万円とした。

また、本年度より人文科学系に基本テーマ２を追加した。

⑵ 助成対象の研究分野

A （電気・機械工学系）… 特別テーマ・基本テーマ１・基本テーマ２

対象系	分　野	分類No	分　類
A	光・電子デバイス 材料・物性 融合技術	1	半導体関連　エレクトロニクス　スピントロニクス
		2	電気・電子・磁性デバイス　MEMS
		3	光デバイス　表示素子　情報記録
		4	通信・伝送用デバイス　センサデバイス
		5	新素材　ナノテクノロジー関連
	システム 情報・通信 ネットワーク メカトロニクス セキュリティ 国際標準化	6	ヒューマンインターフェイス　ウェラブル
		7	コンピュータ・マルチメディア信号処理
		8	ソフトウエア　知識処理　ＡＩ
		9	放送　通信　ＩｏＴ
		１０	計測　制御　センシング
		１１	機構　ロボット
	環境 その他	１２	環境エレクトロニクス (材料　新エネルギー　省資源　省エネルギー)
		１３	シミュレーション科学
		１４	加工法　工作法　リサイクル技術
		１５	信頼性・最適デザイン

B （医学・生理学系）… 特別テーマ・基本テーマ１・基本テーマ２

対象系	分　野	分類No	分　類
B	健康・スポーツ ライフサイエンス	１６	人間支援デバイス・システム
		１７	ヒューマンエレクトロニクス ヒューマンパフォーマンス
		１８	ヘルスエンジニアリング
		１９	バイオエレクトロニクス関連

C （人文科学系）… 特別テーマ・基本テーマ１・基本テーマ２

対象系	分　野	分類No	分　類
C	人材育成 人間行動	２０	人材育成に関する研究 －人材育成の方法・効果等に関する 理論的・実証的研究等－
		２１	変革期における人間行動の研究 －人間を中心とした情報・生産・環境等の 関わりについての研究－
	ＩＣＴ教育	２２	ＩＣＴを活用した学習支援システム・学習コンテンツに関する研究

４月　５日　「研究助成候補者推薦要項」の発送を開始し、２０５大学（新規校７大学）に推薦を依頼した。

［別紙２参照］

５月３１日　申請を締切り、１０３大学より２５７件の推薦を受けた。

７月１９日　令和６年度選考予備会議を開催し、「研究助成選考基準」など本年度の選考方針を確認し、選考委員に個別審査を依頼した。

９月１３日　令和６年度選考会議を開催し、選考委員の個別選考結果をもとに　審議・選考し、研究助成金受領候補者を選出した。

１０月　４日　第３０回理事会を開催し、選考会議の研究助成金受領候補者案を承認し、５１件総額８,７００万円を助成することを決定した。

［別紙３参照］

１０月１０日　推薦者（１８６名）及び申請者（２５７名）に選考結果の通知を発送した。

１２月　６日　第４２回（令和６年度）研究助成金贈呈式を挙行した。

１２月１１日　大学研究機関に研究助成金の振込を開始し、総額８,７００万円（５１件）の研究助成金の振込を同日完了した。

２．研究協賛事業（定款第４条第１項第２号）

予 算 額	支 出 額	備　　考
２,５００万円	２,９００万円	１３件支給 （継続テーマ　６件：１,０００万円 新規テーマ　７件：１,９００万円）

令和５年１０月　６日　　第２８回理事会を開催し、「第１５回（令和６年度）研究協賛事業実施要項」を決定した。

［別紙４参照］

令和６年　６月　３日　　当財団の評議員、理事及び選考委員に対して研究協賛事業実施要項を発送し、推薦を依頼した。

８月３０日　　応募を締切り、１３件の推薦を受けた。

１０月　４日　　第３０回理事会を開催し、審議した結果、１３件に対して総額２,９００万円の研究協賛金を支給することを決定した。

［別紙５参照］

１０月１０日　　推薦者（１３名）及び応募者（１３名）に選考結果の通知を発送した。

１２月　２日　　大学研究機関に研究協賛金の振込を開始した。

１２月１３日　　総額２,９００万円（１３件）の研究協賛金の振込を完了した。

Ⅱ．処務の概要

１．役員等に関する事項

⑴ 評議員１３名　　令和７年３月末日現在

職名	常勤･非常勤	氏名	就任（再任）年月日	現職
評議員長	非常勤	樫尾　哲雄	R4.5.13	カシオ計算機株式会社取締役 常務執行役員
評議員	非常勤	荒木　光彦	R4.5.13	京都大学名誉教授 松江工業高等専門学校名誉教授
評議員	非常勤	伊藤　彰義	R4.5.13	日本大学名誉教授
評議員	非常勤	稲葉　和彦	R4.5.13	株式会社リョーサン 代表取締役 社長執行役員
評議員	非常勤	射場本忠彦	R4.5.13	東京電機大学学長
評議員	非常勤	岡野　光夫	R4.5.13	東京女子医科大学名誉教授・特任顧問 UTAH 大学客員栄誉教授
評議員	非常勤	樫尾　　彰	R4.5.13	カシオ計算機株式会社特別顧問
評議員	非常勤	金子　元久	R4.5.13	筑波大学大学研究センター特命教授 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	越田　信義	R4.5.13	東京農工大学名誉教授
評議員	非常勤	佐久間健人	R4.5.13	東京大学名誉教授 高知工科大学名誉教授
評議員	非常勤	下谷　隆之	R4.5.13	株式会社千修代表取締役会長
評議員	非常勤	成田誠之助	R4.5.13	早稲田大学名誉教授
評議員	非常勤	松井　剛一	R4.5.13	筑波大学名誉教授

⑵ 理事１０名　　令和７年３月末日現在

職名	常勤･非常勤	氏名	就任（再任）年月日	現職
理事長	非常勤	樫尾　隆司	R6.5.17	カシオ計算機株式会社専務執行役員
常務理事	常勤	飯塚　宣男	R6.5.17	※ 公益財団法人カシオ科学振興財団事務局長
理事	非常勤	石原　　宏	R6.5.17	東京工業大学（現 東京科学大学）名誉教授
理事	非常勤	岡村　　甫	R6.5.17	東京大学名誉教授 高知工科大学名誉教授
理事	非常勤	樫尾　和宏	R6.5.17	カシオ計算機株式会社代表取締役 会長
理事	非常勤	木村　忠正	R6.5.17	電気通信大学名誉教授
理事	非常勤	小山　清人	R6.5.17	山形大学名誉教授
理事	非常勤	垂井　康夫	R6.5.17	東京農工大学名誉教授
理事	非常勤	眞壁　利明	R6.5.17	慶應義塾大学名誉教授
理事	非常勤	水野　皓司	R6.5.17	東北大学名誉教授

※カシオ計算機株式会社より出向

⑶ 監事２名　　令和７年３月末日現在

職名	常勤･非常勤	氏名	就任（再任）年月日	現職
監事	非常勤	岡芹　健夫	R6.5.17	髙井・岡芹法律事務所代表社員（弁護士）
監事	非常勤	小林　　敬	R6.5.17	出塚会計事務所（公認会計士・税理士）

２．職員に関する事項　　令和７年３月末日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
職員	常勤	中野　菜美	R5.10. 1	庶務	カシオ計算機㈱より出向
職員	常勤	山本　順子	S63.12.21	同上	同上

３．会議等に関する事項

⑴ 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 6 年 5 月 17 日 第 15 回定時評議員会	① 令和 5 年度 第 43 期 事業報告及び決算の件 ② 理事 11 名選任の件 ③ 監事 2 名選任の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

⑵ 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 6 年 4 月 12 日 第 29 回理事会	① 令和 5 年度 第 43 期 事業報告及び決算の件 ② 理事候補者 11 名選出の件 ③ 監事候補者 2 名選出の件 ④ 選考委員 17 名選出の件 ⑤ 株主権行使の件 ⑥ 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
令和 6 年 5 月 28 日 臨時理事会 ［決議の省略］	① 理事長選定の件 ② 常務理事選定の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
令和 6 年 10 月 4 日 第 30 回理事会	① 第 42 回(令和 6 年度)研究助成金受領者決定の件 ② 第 15 回(令和 6 年度) 研究協賛金受領者決定の件 ③ 令和 7 年度 第 45 期 事業計画及び収支予算の件 ④ 第 43 回(令和 7 年度)研究助成候補者推薦要項の件 ⑤ 第 16 回(令和 7 年度)研究協賛事業実施要項の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

⑶ 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和６年 ７月 19 日 （令和６年度 選考予備会議）	① 第 42 回（令和６年度）研究助成応募状況の報告 ② 選考方針・基準の確認	承認 承認
令和６年 ９月 13 日 （令和６年度 選考会議）	① 第 42 回（令和６年度）研究助成金受領候補者選出	研究助成候補者 51 名選出

⑷ 助成事業検討ワーキンググループ会議

財団運営、助成事業を中長期で見直すための意見聴取会として、理事会承認のもと令和６年１月より助成事業検討ワーキンググループが設置され、本年度は３回に亘り会議を開催した。

開催年月日	主な検討内容
令和６年 ６月 28 日 （第２回）	① 研究助成事業（研究助成候補者推薦要項の見直し） ② 研究協賛事業（事業検討） ③ 褒賞事業（新規事業検討） ④ 寄附事業（新規事業検討） 出席者：樫尾　隆司（理事長）　飯塚　宣男（常務理事・事務局長） 理事：水野　皓司　評議員：越田　信義 選考委員：五十嵐　哲・定本　朋子・松山　泰男
令和６年 11 月６日 （第３回） ［リモート会議］	① 研究助成事業（対象分野・分類の見直し、ステップアップ助成（新規）） ② 研究協賛事業（事業検討） ③ 褒賞事業（新規事業方針案） 出席者：樫尾　隆司（理事長）　飯塚　宣男（常務理事・事務局長） 理事：水野　皓司　評議員：越田　信義 選考委員：五十嵐　哲・定本　朋子・松山　泰男
令和７年 ２月 ７日 （第４回）	① 研究助成事業（対象分野・分類の見直し、ステップアップ助成（新規）） ② 褒賞事業（新規事業方針案） 出席者：飯塚　宣男（常務理事・事務局長） 理事：水野　皓司　評議員：越田　信義 選考委員：五十嵐　哲・定本　朋子・髙橋　智・松山　泰男

４．寄附金に関する事項

該当なし

５.内閣府公益法人行政担当への届出・提出

届出・提出年月日	届出・提出書類
令和 6 年 6 月 21 日	令和 5 年度 第 43 期 事業報告等の提出　※電子申請
令和 6 年 10 月 28 日	変更の届出　※電子申請
令和 7 年 1 月 14 日	令和 7 年度 第 45 期 事業計画書等の提出　※電子申請
令和 7 年 4 月　1 日	変更の届出　※電子申請

６．特記事項

令和 6 年 9 月 30 日付　末松安晴理事 退任（令和 6 年 9 月 30 日付 理事変更登記）

令和 7 年 2 月 28 日付　栗山年弘評議員 退任（令和 7 年 2 月 28 日付 評議員変更登記）

以　上

事 業 報 告 の 附 属 明 細 書

令和６年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はなし。

以　上

［別紙１］

第４２回（令和６年度）
研究助成候補者推薦要項

公益財団法人カシオ科学振興財団

１．助成の趣旨

自然科学（特に電気・機械工学系）／（医学・生理学系）および人文科学の研究を助成し、わが国の学術研究の振興に寄与しようとするものです。この目的達成のため、大学研究機関の推薦協力を得て有意義な研究、特に若手研究者による萌芽的な段階にある先駆的・独創的研究を重点的に選定し、本年度の研究助成を行ないます。

特別テーマは、「持続可能な社会の実現に向けた研究」を募集いたします。

２．対象とする研究分野

募集する研究テーマごとに指定された研究分野からの応募が対象となります。

Ａ…電気・機械工学系

電気工学、機械工学を中心とした１５分類に該当する幅広いテーマが対象となります。

対象系	分　野	分類 No	分　類
Ａ	光・電子デバイス 材料・物性 融合技術	1	半導体関連　エレクトロニクス　スピントロニクス
		2	電気・電子・磁性デバイス　ＭＥＭＳ
		3	光デバイス　表示素子　情報記録
		4	通信・伝送用デバイス　センサデバイス
		5	新素材　ナノテクノロジー関連
	システム 情報・通信 ネットワーク メカトロニクス セキュリティ 国際標準化	6	ヒューマンインターフェイス　ウェラブル
		7	コンピュータ・マルチメディア信号処理
		8	ソフトウエア　知識処理　ＡＩ
		9	放送　通信　ＩｏＴ
		１０	計測　制御　センシング
		１１	機構　ロボット
	環境 その他	１２	環境エレクトロニクス (材料　新エネルギー　省資源　省エネルギー)
		１３	シミュレーション科学
		１４	加工法　工作法　リサイクル技術
		１５	信頼性・最適デザイン

B …医学・生理学系

健康維持・増進、パフォーマンス向上を目的とした電子工学と医学／生理学の学際的研究を中心とした４分類に該当するテーマが対象となります。

対象系	分　野	分類 No	分　類
B	健康・スポーツ ライフサイエンス	１６	人間支援デバイス・システム
		１７	ヒューマンエレクトロニクス ヒューマンパフォーマンス
		１８	ヘルスエンジニアリング
		１９	バイオエレクトロニクス関連

C …人文科学系

人材育成、人間行動、ＩＣＴ教育の３分類に該当するテーマが対象となります。

対象系	分　野	分類 No	分　類
C	人材育成 人間行動	２０	人材育成に関する研究 －人材育成の方法・効果等に関する理論的・実証的研究等－
		２１	変革期における人間行動の研究 －人間を中心とした情報・生産・環境等の関わりについての研究－
	ＩＣＴ教育	２２	ＩＣＴを活用した学習支援システム・学習コンテンツに関する研究

３．募集する研究テーマ

＜特別テーマ＞

題目「持続可能な社会の実現に向けた研究」

持続可能な社会の実現に向けた研究を先述の電気・機械工学系、医学・生理学系、人文科学系の２２分類に該当する分野から、助成金額を６００万円として募集します。申請にあたっては、その研究成果が、国連の定める「持続可能な開発目標(SDGs)」のいずれの目標に貢献するか、ゴール番号をご記入いただきます。
但し、SDGs自体は２０３０年までの解決目標として設定されていますが、研究が２０３０年時点で完了成果を持つものであることは要件とはいたしません。

＜基本テーマ１＞

先述の電気・機械工学系、医学・生理学系、人文科学系の２２分類に該当する分野から、助成金額を１００万円として募集します。

＜基本テーマ２＞

先述の電気・機械工学系、医学・生理学系、人文科学系の２２分類に該当する分野から、助成金額を３００万円として募集します。

４．対象とする研究者

大学研究機関が推薦する研究グループの代表研究者または個人研究者であり、職名については申請時点で、教授・准教授・講師・助教・助手・研究員に限ります

※ 特任助教、特定講師などの職名も、常勤である研究者は対象となります。
※ ６つの職名であっても非常勤講師など、常勤でない研究者は対象外となります。
※ ○○教員、○○研究教員など、６つの職名に該当しない研究者は対象外となります。

５．助成金額及び件数

総額は７,８００万円とし、１件あたりの助成金額と件数は下記の通りといたしますが、選考結果により若干変更する場合があります。

助成金額	助成件数	総額
＜特別テーマ＞ ６００万円	２件	１,２００万円
＜基本テーマ１＞ １００万円	３９件	３,９００万円
＜基本テーマ２＞ ３００万円	９件	２,７００万円
計	５０件	７,８００万円

６．助成期間

研究助成金受領後、原則として１年間に使用する範囲に対して助成いたします。

７．助成金の使途

申請する助成金は、研究計画を遂行するために直接必要とする経費を計上し、申請の記載に則って使用していただきます。使途の変更は原則として認めませんが、研究目的達成のために止むを得ない場合のみ、多少の変更を認めます。

※申請者が所属する機関等の間接経費・一般管理費（オーバーヘッド）は助成の対象となりません。

８．助成金受領者の報告の義務

助成金贈呈の１年後に研究経過及び会計を別途定める様式によって報告していただきます。助成金に残余がある場合は使用計画を明記していただき、終了後に再度会計報告を提出していただきます。

９．推薦者／推薦件数

学部長（大学院研究科長、研究所長等を含む）とし、学部長等自らの申請の場合は、学長とします。

尚、推薦件数は基本テーマ１、基本テーマ２を合わせて、１学部３件までといたしますが、特別テーマは別枠とし、推薦件数は定めません。

10．推薦手続

所定の「推薦書」に必要事項を記載し、「申請書」と共に１部提出してください。

※ 「推薦書」及び「申請書」は、当財団ホームページよりオンライン（Graain）にて作成し、オンラインでの提出後、印刷して押印の上、学部等（所属機関）の事務局が一括してご送付ください。

11．締切日

令和６年５月３１日（金）必着といたします。（押印原紙到着日）

12．選考方法及び決定

選考委員からなる選考委員会を設けて選考し、理事会で決定いたします。

13．選考結果の通知

選考結果は、令和６年１０月中旬に推薦者と申請者に対し文書により通知いたします。

14．助成金贈呈

令和６年１２月に贈呈式を行ない、申請者の所属大学口座に送金いたします。

尚、贈呈式には入選者全員のご出席をお願いいたします。（代理出席可）

【提出先及び連絡先】

公益財団法人カシオ科学振興財団
〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目６番２号
E-mail：zaidan@casio.co.jp
ＴＥＬ（０３）５３３４－４７４７

［別紙２］

第42回（令和6年度）研究助成推薦依頼校（205大学）

1 北海道大学
2 北海道教育大学
3 室蘭工業大学
4 北見工業大学
5 弘前大学
6 岩手大学
7 東北大学
8 秋田大学
9 山形大学
10 福島大学
11 茨城大学
12 筑波大学
13 宇都宮大学
14 群馬大学
15 埼玉大学
16 千葉大学
17 東京大学
18 東京医科歯科大学
19 東京学芸大学
20 東京農工大学
21 東京工業大学
22 お茶の水女子大学
23 電気通信大学
24 横浜国立大学
25 新潟大学
26 長岡技術科学大学
27 富山大学
28 金沢大学
29 福井大学
30 山梨大学
31 信州大学
32 岐阜大学
33 静岡大学
34 浜松医科大学
35 名古屋大学
36 名古屋工業大学
37 豊橋技術科学大学
38 三重大学
39 京都大学
40 京都教育大学
41 京都工芸繊維大学
42 大阪大学
43 兵庫教育大学
44 神戸大学
45 奈良女子大学
46 和歌山大学
47 鳥取大学
48 島根大学
49 岡山大学
50 広島大学
51 山口大学
52 徳島大学
53 香川大学
54 愛媛大学
55 高知大学
56 福岡教育大学
57 九州大学
58 九州工業大学
59 佐賀大学
60 長崎大学
61 熊本大学
62 大分大学
63 宮崎大学
64 鹿児島大学
65 琉球大学
66 総合研究大学院大学
67 北陸先端科学技術大学院大学
68 奈良先端科学技術大学院大学
69 公立千歳科学技術大学
70 公立はこだて未来大学
71 岩手県立大学
72 秋田県立大学
73 福島県立医科大学
74 前橋工科大学
75 埼玉県立大学
76 東京都立大学
77 神奈川県立保健福祉大学
78 横浜市立大学
79 富山県立大学
80 石川県立大学
81 公立小松大学
82 長野県看護大学
83 岐阜薬科大学
84 愛知県立芸術大学
85 名古屋市立大学
86 滋賀県立大学
87 京都府立大学
88 京都府立医科大学
89 大阪公立大学
90 兵庫県立大学
91 芸術文化観光専門職大学
92 岡山県立大学
93 広島市立大学
94 山陽小野田市立山口東京理科大学
95 高知工科大学
96 宮崎公立大学
97 八戸工業大学
98 東北学院大学
99 東北工業大学
100 つくば国際大学
101 つくば国際短期大学
102 自治医科大学
103 獨協医科大学
104 東京福祉大学
105 埼玉医科大学
106 埼玉工業大学
107 日本工業大学
108 文教大学
109 明海大学
110 江戸川大学
111 千葉工業大学
112 SBC東京医療大学
113 和洋女子大学
114 麻布大学
115 神奈川大学
116 神奈川工科大学
117 鶴見大学
118 東海大学
119 青山学院大学
120 大妻女子大学
121 北里大学
122 杏林大学
123 慶應義塾大学
124 工学院大学
125 国際基督教大学
126 国士舘大学
127 駒澤大学
128 実践女子大学
129 芝浦工業大学
130 順天堂大学
131 昭和大学
132 星美学園短期大学
133 創価大学
134 玉川大学
135 中央大学
136 帝京平成大学
137 東京工科大学
138 東京工芸大学
139 東京国際工科専門職大学
140 東京歯科大学
141 東京情報デザイン専門職大学
142 東京女子医科大学
143 東京電機大学
144 東京都市大学
145 東京未来大学
146 東京理科大学
147 東邦大学
148 東洋大学
149 日本大学
150 日本女子大学
151 日本体育大学
152 法政大学
153 武蔵野大学
154 明治大学
155 明星大学
156 目白大学
157 立教大学
158 早稲田大学
159 新潟医療福祉大学
160 金沢医科大学

161 金沢工業大学
162 岐阜医療科学大学
163 静岡理工科大学
164 聖隷クリストファー大学
165 愛知医科大学
166 愛知工業大学
167 金城学院大学
168 中部大学
169 名古屋国際工科専門職大学
170 名古屋産業大学
171 びわこ成蹊スポーツ大学
172 京都産業大学
173 京都先端科学大学
174 同志社大学
175 花園大学
176 佛教大学
177 立命館大学
178 大阪医科薬科大学
179 大阪工業大学
180 大阪体育大学
181 大阪電気通信大学
182 関西大学
183 関西医科大学
184 近畿大学
185 大阪河崎リハビリテーション大学
186 相愛大学
187 大阪キリスト教短期大学
188 関西学院大学
189 甲南大学
190 兵庫医科大学
191 武庫川女子大学
192 岡山理科大学
193 川崎医科大学
194 就実大学
195 広島女学院大学
196 広島文化学園大学
197 九州産業大学
198 九州情報大学
199 久留米大学
200 西日本工業大学
201 福岡大学
202 福岡工業大学
203 西九州大学
204 活水女子大学
205 沖縄女子短期大学

※大学名はR6.5.31現在

［別紙３］

第42回（令和6年度）研究助成一覧　　51件　助成金総額 8,700万円

No	研究テーマ	代表研究者	助成金額
1	時間変調照明を用いた蛍光指紋計測に基づくマイクロプラスチックの識別・同定システムの開発	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授 中　内　茂　樹	万円 600
2	飲むナノカプセルを創る研究	北海道大学大学院薬学研究院教授 山　田　勇　磨	600
3	不妊治療応用に向けた折紙工学とMEMSを用いた3D細胞培養折紙デバイスの開発	北海道大学大学院教育推進機構准教授 繁　富　香　織	300
4	走査プローブ顕微鏡によるトポロジカル磁性の制御	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 杉　本　宜　昭	300
5	異常ネルンスト・サーモパイル内部の熱電機能可視化	日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター研究員 一　色　弘　成	300
6	非線形振動分光を用いたポストリチウムイオン電池の充放電反応の定量的検討	東京科学大学物質理工学院助教 岩　橋　　崇	300
7	メタンを含酸素化合物へ資源転換するための2元機能触媒システムの開発	静岡大学工学部講師 茂　木　堯　彦	300
8	超ワイドバンドギャップ半導体窒化アルミニウムのp型電気伝導発現への挑戦	京都大学大学院工学研究科助教 石　井　良　太	300
9	量子ビームの新たな地平～世界初のミューオンビームを実現する量子ビーム計測・制御技術の開発	総合研究大学院大学先端学術院准教授 大　谷　将　士	300
10	触覚感覚の伝送と再現を実現する触覚センサ・ディスプレイの構築に関する研究	早稲田大学先進理工学部教授 澤　田　秀　之	300
11	ステロイドホルモンの同時判別を可能とする化学センサデバイスの開発	東京大学先端科学技術研究センター講師 佐々木　由　比	300
12	化学物質のヒト胎児への移行性を評価する革新的な細胞培養システムの開発	東京科学大学生体材料工学研究所助教 堀　　武　志	300
13	音楽による動物の行動、生理、代謝変容の統合的理解	九州大学生体防御医学研究所准教授 宇留野　武　人	300
14	均質な細胞集団の構築に資する非標識・網羅的な単一細胞の評価と回収法の開発	兵庫県立大学大学院理学研究科准教授 鈴　木　雅　登	300
15	ChatGPT の倫理的な使用のための調査研究	公立小松大学生産システム科学部教授 梶　原　祐　輔	300
16	強スピン軌道相互作用を有する磁性酸化物薄膜を基盤とするグラデーションスピントロニクスの開拓	東北大学大学院工学研究科助教 神　永　健　一	100
17	反強磁性トポロジカル磁気構造の電気的検出	東北大学電気通信研究所助教 土　肥　昂　尭	100
18	輻射輸送シミュレーションに基づく大質量星進化末期の質量放出メカニズム解明	山形大学理学部助教 石　井　彩　子	100
19	VUV光を活用した金属錯体から金属膜への変換に関する研究	山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター助教 孫　　鶴	100
20	新規酸化チタンTi3O5の結晶構造解析による多彩な相転移のメカニズム解明	東京科学大学物質理工学院准教授 吉　松　公　平	100

No	研 究 テ ー マ	代 表 研 究 者	助成金額
21	高圧下で高温超伝導を示すNi酸化物の常圧下における超伝導の実現	横浜国立大学大学院工学研究院准教授 上　原　政　智	万円 100
22	畝検出とGANを用いた大豆圃場における微小アサガオデータセット作成と検出の自動化	福井大学学術研究院工学系部門講師 築地原　里　樹	100
23	未利用水産資源のサケ白子を利用した機能性DNA繊維の開発	信州大学繊維学部准教授 矢　澤　健二郎	100
24	光学的に生体試料の硬さを計測する機械物性顕微鏡の開発−硬さイメージングのための二次元計測の実現−	浜松医科大学光医学総合研究所助教 田　村　和　輝	100
25	メカノセンシング機構解明に向けた3次元培養モデル用マイクロ流路デバイス開発	名古屋大学大学院工学研究科助教 KIM JEONGHYUN	100
26	力覚フィードバック機能を持つ手術シミュレータのためのリニアダブルモータの研究開発	三重大学大学院工学研究科准教授 矢　代　大　祐	100
27	矩形マイクロ流路内の気体流の分子気体力学的研究	京都大学大学院工学研究科助教 初　鳥　匡　成	100
28	気液界面を利用した単分子磁石薄膜の構築と分子スピントロニクスへの展開	奈良女子大学研究院自然科学系助教 堀　井　洋　司	100
29	Radiogenomics解析による脳腫瘍代謝産物の可視化と、治療応用	岡山大学学術研究院医歯薬学域研究准教授 大　谷　理　浩	100
30	再生・細胞医療で重要となる幹細胞ステムネスの質を長期的に保障する磁性ナノ粒子分散型ハイドロゲルの開発	熊本大学大学院先端科学研究部教授 森　田　康　之	100
31	新奇ホイスラー合金を用いた極低温環境で動作する固体冷凍材料の開発	鹿児島大学大学院理工学研究科准教授 重　田　　出	100
32	相対論的クーロン電磁場による物性制御に関する研究	総合研究大学院大学先端学術院助教 太　田　雅　人	100
33	環境調和型ロボティクスを指向した有機材料のみからなる電動ソフトロボットアクチュエータの開発	中央大学理工学部助教 吉　田　昭太郎	100
34	スキャホールドフリー筋腱連結組織体の作製と力学刺激に対する応答評価	弘前大学大学院理工学研究科准教授 森　脇　健　司	100
35	高精度化と軽量化を両立するウェアラブル深部体温計測プローブの開発	東京科学大学工学院助教 橋　本　優　生	100
36	旋回歩行時の斜め方向転倒リスクの低減に向けた歩行安定性評価モデルの開発評価	信州大学繊維学部准教授 秋　山　靖　博	100
37	Virtual Reality therapyが筋痛を軽減させる効果の検証	京都大学大学院医学研究科助教 林　　和　寛	100
38	エクソソームを用いたオートファジーモニタリング方法の開発	大阪大学大学院医学系研究科特任助教 南　　聡	100
39	補助感覚に着目した残存機能利用による立ち座り動作支援機器の開発	香川大学創造工学部講師 土　谷　圭　央	100
40	鼻−脳輸送系と磁気ターゲティングを利用した脳への薬物デリバリーと脳内動態制御	名古屋市立大学大学院薬学研究科講師 小　川　昂　輝	100

No	研 究 テ ー マ	代 表 研 究 者	助成金額
41	生細胞イメージングによるマクロファージ表現型のAI識別システムの開発	芝浦工業大学システム理工学部准教授 中　村　奈緒子	万円 100
42	運動による実行機能低下の生理機構: 末梢血乳酸がバイオマーカーとなりうるか	新潟医療福祉大学健康科学部講師 越　智　元　太	100
43	「スクールカースト」が子どもの主体的な学びに及ぼす影響	北海道教育大学教育学部旭川校准教授 水　野　君　平	100
44	中近世の変革期における霊場の実態と「日本的霊場」誕生の解明−立石寺木札資料の考古学的検討から−	山形大学学士課程基盤教育院教授 荒　木　志　伸	100
45	データ駆動型モデリング能力を育成する数学教材原理の導出と検証：体系的教材レビューと授業化を通して	宇都宮大学共同教育学部准教授 川　上　　貴	100
46	デジタルファブリケーションで駆動する生徒の主体性を高めた特別支援教育	千葉大学教育学部准教授 木　下　　龍	100
47	人口減少とスマート農業の普及による人と農との関わりの変容と組織内外の連携による学習プロセスの解明	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授 八　木　洋　憲	100
48	ジェンダー・バイアスへの気づきを促す即興演劇「ザ・ベクデルテスト」を応用した教師教育に関する研究	三重大学大学院教育学研究科准教授 園　部　友里恵	100
49	地方部の基盤産業における「外国人材」の受入とその持続可能性に関する調査研究	神戸大学大学院人文学研究科講師 梅　村　麦　生	100
50	保育士の専門性開発～保育士と園児の視線行動の分析と分析結果に基づいた研修プログラムの実施～	江戸川大学社会学部講師 石　橋　美香子	100
51	高等教育政策過程における私立大学団体の機能に関する研究	びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部講師 松　本　圭　将	100

※所属・職名は助成時

［別紙４］

第１５回（令和６年度）
研究協賛事業実施要項

公益財団法人カシオ科学振興財団

１．協賛事業の趣旨

わが国の学術研究の振興と産業の発展を目的として、将来有望な成果が期待される研究テーマ・研究活動を当財団の人脈を活用して発掘し協賛することを通じて、その育成をはかります。

２．対象とする研究分野

・学術振興…わが国の学術研究をリードすると期待される独創性のある
　　優れた研究テーマ
・産業発展…わが国の産業発展への貢献が有望な研究テーマ

３．対象とする研究者

わが国の大学機関に所属する５０歳以下の常勤の教授・准教授・講師・助教・助手。
（但し、継続応募の場合は、年齢条件は除外する）

４．協賛金額

総額は２,５００万円とし、１件あたり１００万円単位で限度額は３００万円といたします。

５．協賛期間

研究協賛金受領後、原則として１年間に使用する範囲に対して協賛いたします。
研究が長期にわたる場合、理事会にて審議の上、最大３年間までの継続申請を認めます。

６．協賛金の使途

研究計画を遂行するために直接必要とする経費を計上し、計画書の記載に則って使用していただきます。使途の変更は原則として認めませんが、研究目的達成のために止むを得ない場合のみ多少の変更を認めます。

※代表研究者が所属する機関等の間接経費・一般管理費（オーバーヘッド）は協賛の対象となりません。

７．協賛金受領者の報告の義務

協賛金支給の１年後に研究成果論文及び会計報告を別途定める様式によって報告していただきます。

８．推薦者／推薦件数

当財団の理事・評議員・選考委員のいずれか１名の推薦を要し、推薦件数は継続・新規に関わらず１年度につき１件といたします。

詳細は「研究協賛事業運用ガイドライン」（別紙）の定めに従うものといたします。

９．応募方法

令和６年６月３日（月）に理事・評議員・選考委員に実施要項を送付いたしますので以下の手順で書類をご提出ください。

⑴推薦者より研究協賛金受領候補となる研究活動及び代表研究者を事務局に連絡
⑵事務局より推薦者に研究協賛推薦書及び研究協賛計画書の様式を電子データで送付
⑶推薦者は推薦書を作成し、代表研究者に計画書の作成を依頼
⑷締切日までに推薦者より事務局に推薦書・計画書（押印書類と電子データ）を提出

10．締切日

令和６年８月３０日（金）必着といたします。

11．選考方法及び決定

理事会で審議の上、決定いたします。

12．選考結果の通知

選考結果は、令和６年１０月中旬に推薦者と（代表）研究者に対して文書により通知いたします。

13．協賛金支給

選考結果通知後、代表研究者の所属大学口座に送金いたします。

【提出先及び連絡先】

公益財団法人カシオ科学振興財団
〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目６番２号
E-mail：zaidan@casio.co.jp
ＴＥＬ（０３）５３３４－４７４７

［別紙５］

第15回（令和6年度）研究協賛事業一覧　　13件　協賛金総額 2,900万円

No	研究テーマ	代表研究者	協賛金額
1	プロセスインフォマティクスを活用した最適2軸変形条件による高強度バイオ生分解性プラスチックの開発	山形大学大学院有機材料システム研究科准教授 西　辻　祥太郎	万円 100
2	オンライン診療にて患者が好印象を抱く医療者のコミュニケーション態度：表情・声・動作・会話の定量化	北里大学医療衛生学部准教授 市　倉　加奈子	100
3	鉄依存性細胞死フェロトーシスを制御する転写因子動態の解明と細胞治療戦略への応用	東北大学大学院医学系研究科教授 五十嵐　和　彦	300
4	視覚障碍者支援における眼内閃光の利用可能性	東京電機大学理工学部助教 金　丸　真奈美	300
5	全光型磁化反転可能な光学・磁性薄膜構造の探索	日本大学理工学部助教 吉　川　大　貴	100
6	家族による介護の質向上を目指した被介護者の仰臥位圧力分布からの生体内部構造可視化	日本大学理工学部助教 村　上　知　里	100
7	細胞外小胞を解析するナノバイオトランジスタの開発と体液疾病診断への応用	東京農工大学大学院生物システム応用科学府講師 田　畑　美　幸	300
8	バレートポロジーに基づく小型・安定動作可能な円偏光発生素子の創成	東京科学大学総合研究院助教 林　　文　博	300
9	多様な化学構造を持つ樹脂材料に適用可能な酸化劣化のメソスケールシミュレーション基盤確立	名古屋大学大学院工学研究科助教 石　田　崇　人	200
10	呼吸筋活動に着目した女性の安全なスポーツ活動・パフォーマンス向上のトレーニング戦略	大阪教育大学表現活動教育系准教授 小　川　剛　司	300
11	AI技術革新に対峙する教育・学習モデルの教育哲学・理論的再構築	東洋英和女学院大学人間科学部教授 尾　崎　博　美	200
12	膵臓がんに対する標的starvation療法の開発とその臨床応用への挑戦	東京女子医科大学先端生命医科学研究所特任准教授 北　原　秀　治	300
13	エラーを伴う量子計算機の技術開発と最適化問題への適用	早稲田大学高等研究所講師 白　井　達　彦	300

※所属・職名は協賛時